



第10号

発行日 平成17年 7月1日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗東身延 本山藻原寺
発行責任者 総務執事 増田 寶泉
TEL 0475-22-3153

御遺文

孟蘭盆と申は、仏の御弟子、目連尊者の母、慳貪の科によりて

鐵道にをちて候しを、目
くいしより事をこりて候

十一

八月十五日はお施餽山

日蓮大聖人が文永八年のお盆に書かれた御書にはこうあります。

「そもそも盂蘭盆というは、目連尊者の母、青題女(しようたいによ)という人が、貪欲な業によつて、長い間餓鬼道に落ちて苦しんでいたのを、目連が救つた事より始まつてゐる。・・・」

お頬道様の弟子目連の母は非常に欲が深く、他の人に物を分け与える事を嫌つた為に、その慾の罪で餓鬼道に堕ちました。神通力を得た目連が骨と皮だけにやせ衰えた母を救おうとするも、食べ物や水を差し出すと、すべてが炎と変化して逆に母を苦しめてしまい

三

そのような目連にお駕迎さまは、
「自分の母だけじゃなく、苦しんで
いる餘鬼道のすべての者の為に
供養をしなさい」と教えられまし
た。

そのいいつけを守り、飢えや渴きで困っている大勢の人達に食べ物等の供養をして、餓鬼道の母を救い出す事に成功したのでした。

青題女は我が子の事だけを考えていた為に餓鬼道に墮ち、目連もまた、自分の母だけを救おうと神通力を使う。現代でいう自己チューニングやつが悪の根源であります。子供のことを「餓鬼」という、「クソガキ」とかいってあまり良い言葉として使いませんが、子どもは、いつも本能のままに次々と欲求を言える本当の人間の正直な姿なのかもしれません。

一般的に施餓鬼法要に来られる方は自分の家の先祖にと、お参りする方が多いと思いますが、寺院で営む法要の主眼は、無縁の餓鬼道の靈位に対して向けられているという事を知つておいていただきたい。でないと私は、青題女と同じになってしまいます。

(一) ろの陽だまりより



大堂の欄間彫刻の

「二十四孝」について

藻原寺の大堂の外陣と内陣のある欄間は、一度灰汁洗いをしたのですが、ささくれ立っています。しかし、欄間の裏側が粧木でしたので、表面に金箔を押し、裏面は白い板でささぐことにしました。

ところで何の彫刻なのか判らなかつたのですが、「二十四孝の彫刻ではないか」と言いつて調べてみました。確かに二十四孝の十場面でした。

二十四孝は、中國古来の孝子二十四人の事績を説いたものであります。

一 虞舜(ぐしゅん)⑧

二 曾参(そうしん)

いと虎に飛びかかつた所です。

晋の王祥が、繼母の求めによつて、水の上に伏して身体で氷を落として、鮎を捕まえたところです。

晋の孟宗が、病の母の求めに応じて冬の最中、雪の中で箭を探したところ箭が生えてきたところです。

中央の彫刻の四人は、

漢の郭巨が、貧しくて、子に食べさせると母に食べさせることができないので、

我が子を埋め致そうとする

と地中から黄金の盆が出てきました。

漢の文帝が、皇帝として政事を行いながら、母の食事は自ら試食して食べさせ、

病の時は湯薬を自ら作つて看病しました。

唐夫人が、姑が

食べ物を喰めなくなつたので自分の

乳を飲ませてよく仕え、数年の間姑

を養つた場面であります。

唐夫人が、母の像を刻んで生きていた人に仕えるようにしてい

たところ、妻がその像を傷つけてしまつたので妻と共に謝つている

ところです。

左手の彫刻の三人は、

虞の舜が、田を耕しているとき

父が病に倒れ便を

調べて病の重いことを知り、北斗七星

に祈つて、父の回復を願つて、いるところ

です。

唐夫人が、姑が

食べ物を喰めなく

なつたので自分の

乳を飲ませてよく

仕え、数年の間姑

を養つた場面であります。

その他十四人についても、それぞれ物語がありますが紙面の都合で割愛します。

日蓮聖人は「我が

頭は父母より授かれた頭、我が足は

父より授かれた足、我が十指は父

より授かれた口である。種子と果实の如きである。」

と仰せられ、父母に孝養を尽くす





大堂の欄間彫刻の

「二十四孝」について

藻原寺の大堂の外陣と内陣のあいだの欄間は、一度灰汁洗いをしたようですが、ささくれ立っています。しかし、欄間の裏側が粧末でしたので、表面に金箔を押し、裏面は白い板でささぐことにしました。

ところで何の彫刻なのか判らなかつたのですが、「二十四孝の彫刻ではないか」と言うことで調べてみました。確かに二十四孝の十場面でした。

二十四孝は、中國古來の孝子二十四人の事績を説いたものであります。

一 虞舜(ぐしゅん)⑧

二 曾参(そうしん)

三 漢文帝(かんぶんてい)⑤
四 閔損(みんそん)
五 仲由(ちゅうゆ)
六 蕤永(れいえい)
七 刺子(えんし)
八 江革(こうかく)
九 陸續(りくせき)
十 唐夫人(とうふじん)⑩
十一 吳猛(ごもう)
十二 王祥(おうしょう)②
十三 郭巨(かくきょ)④
十四 楊香(ようこう)①
十五 朱春昌(しゅしゅんじょう)
十六 療黔妻(ゆけんくわい)⑥
十七 老萊子(ろうらいし)⑥
十八 察順(さいじゅん)⑤
十九 黄香(おうこう)
二十 姜詩(きょうし)
二十一 王義(おうひ)
二十二 丁蘭(ていらん)⑦
二十三 孟宗(もうそう)③
二十四 黃庭堅(おうていけい)

② いと虎に飛びかかった頭です。
③ 晉の王祥が、母の求めによつて、水の上に伏して身体で氷を落として、鮑を捕まえたところです。

④ 晉の孟宗が、病の母の求めに応じて冬の最中、雪の中で筍を探したところ、筍が生えてきたところです。

⑤ 漢の文帝が、皇帝として政事を行いながら、母の食事は自ら試食して食べさせ、病の時は湯薬を自ら作つて看病しました。

⑥ 唐夫人が、姑が食べ物を噛めなくなつたので自分の乳を飲ませてよく仕え、数年の間姑を養つた場面であります。

⑦ 唐夫人が、姑が



⑧ 南齊の療黔妻が、父が病に倒れ便を調べて病の重いことを知り、北斗七星に祈つて、父の回復を願つて、いるところです。

⑨ 唐夫人が、姑が

食べ物を噛めなくなつたので自分の乳を飲ませてよく仕え、数年の間姑を養つた場面であります。

⑩ 唐夫人が、姑が食べ物を噛めなくなつたので自分の乳を飲ませてよく仕え、数年の間姑を養つた場面であります。

⑪ 唐夫人が、姑が

の場面で、右手の彫刻の三人は、
① 晉の楊香が父と共に山の中に入つたところ、虎が出てきたので、父を助けるためには命もいらなかった。

何れも親孝行での行状を説いています。

当山にあるのは、あうちの十人

の彫刻の三人は、
② 漢の丁蘭が、母の像を刻んで生きている人に仕えるようにして、たところ、妻がその像を傷つけてしまったので、妻と共に謝つて

日蓮聖人は、「我が頭は父母より授かれた頭、我が足は父母より授かれた足、我が十指は父母より授かれた十指、我が口は父母より授かれた口である。種子と果实の如きである。」と仰せられ、父母に孝養を尽くす

式中には、
藻原寺和
讃会によ
る「和讃
奉納」が
されまし
た。藻原
寺和讃会
は、毎月
二回、竹
中先生の
指導の下、練習をしており、その
成果を発表する事ができました。



壇信徒協議会総会(六月十日)

千葉県西部地区、百十ヶ寺のお
寺の総代さんの連絡会議が行われ
ました。

当時は各寺の住職二十一名と各壇
家の代表者八十六名が出席しまし
た。

小西法縁

高橋 廣史	第一区
秋葉 賴廣	第二区
鈴木 勝博	第三区
今関 嶽	第四区
岡部 正信	(第五区)
皆川 力	(第六区)

全国大会(六
月二十七日)
梅雨と言うの
に三十度を超
える暑さの中、
全国より百十



九名の僧侶が集まり先師法要を行
いました。
◎小西法縁とは、壇林(お坊さん
の学校)の時代大網町の小西に学
んだ僧侶の弟子達の集まりのこと
です。

総代・世話人の紹介

(敬称略)

筆頭総代 渡邊芳郎
副代表 佐藤利夫・足立宣夫

寺田善行・金坂忠利
宮崎和雄

世話人会

会計 大谷覚子・高橋廣史
監査 松本哲也・皆川力
書記長 秋葉勝廣・木嶋利美
書記 関本清
顧問 佐藤利夫・正林四郎
寺田憲司・関谷嘉一



藻原寺がテレビにできるかも?

7/31(日) 19時より 千葉テレビ
に茂原の七夕が放送されます。
その中で、藻原寺が紹介されます。
再放送 8/4(木) 13時より

寺田憲司(第七区第十三区)
鎌田 泰夫(第八区)
大野 玄房(第九区)
鶴沢 石井 文藏(第十区)
三枝 功明(第十一区)
その他二十名

行事案内

ホウロク灸 七月二十八日(木)
九時より十六時まで
盂蘭盆願供え会 八月十五日(月) 九時

川施餓鬼 八月二十四日(水) 十時
門祖講

新入壇者紹介

茂原市萩原町 秋葉 敏夫様
大阪府吹田市 廣瀬加代子様
茂原市茂原 松本 順治様

○成十七年五月一日からの入壇者を記載

奉納

十月三日(月)十一時
観音堂秋季大祭
十月十六日(日)十時半
向尊殿大祭

宗祖御更衣式

十月一日(土)十八時
十月三日(月)十一時

十月十六日(日)十時半
十一月十二日(土)

十一月十二日(土)
子育て観音様大祭
十一月三日(土)

7/31(日) 19時より 千葉テレビ
に茂原の七夕が放送されます。
その中で、藻原寺が紹介されます。
再放送 8/4(木) 13時より